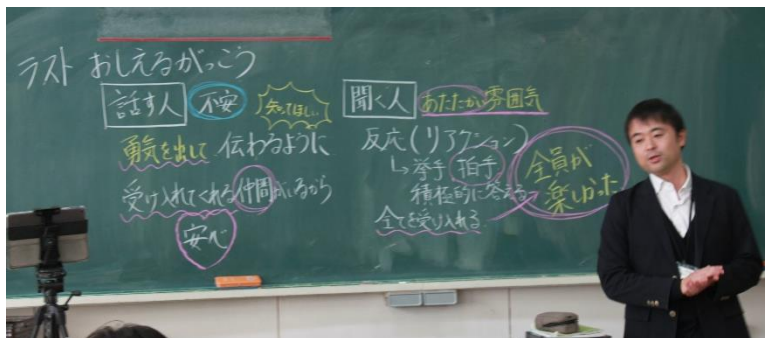


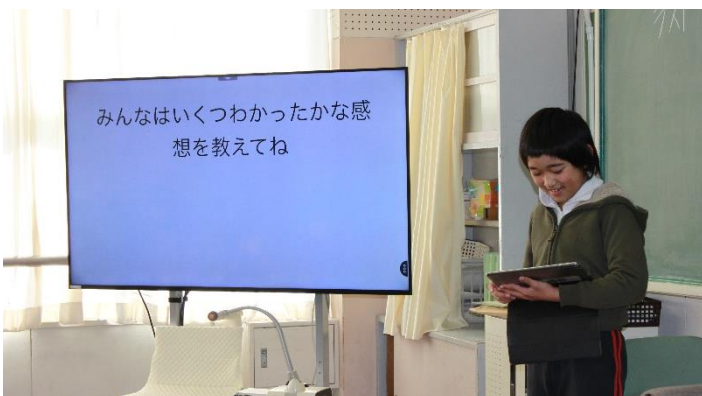
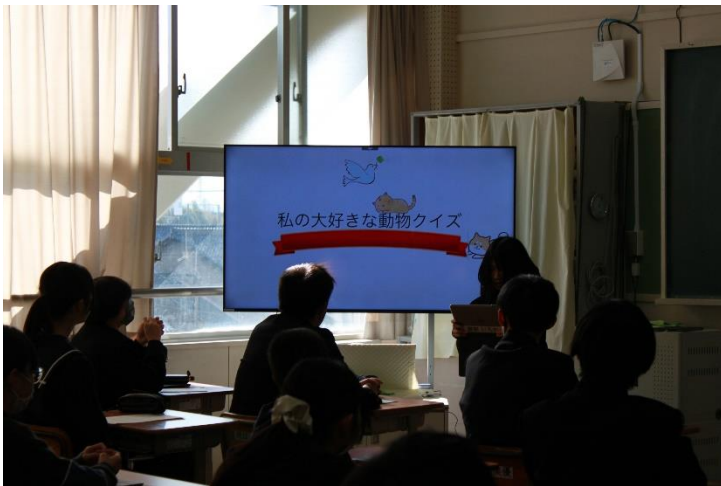
◇本年度最後の「おしえるがっこう」

本年度最後の「おしえるがっこう」がありました。今回は、感染症が蔓延していたため、学級ごとに行いましたが、今回は、小5～中3の縦割りを実施することができました。





中学生は名画について学習したばかりだったようで、学習したことを思い出しながら、クイズに取り組んでいました。



地域の方も
参観に来て
くださいました。



「魚へんに平」さて何と読む？ 難しい問題も、全員で考えて答えを見つけっていました。みんなで協力していることが、後ろ姿からも伝わってきました。



この児童は、修学旅行で「庭」に興味をもち、「庭」にかかわるクイズをつくっていました。修学旅行で行っていない場所もクイズに出しているため、内容が大変難しく、みんな必死に考えて答えていました。



この児童は、「タイ バンコクの正式名称は？」をクイズに出していました。スピーカー機能を利用して、音が聞こえるように工夫していました。



自分が作った問題を、これだけ意欲的に答えてくると、本当にうれしくなりますね。



最後の感想交流では、挙手する人がたくさんいてびっくり!!
「おしえるがっこう」が、本当に楽しかったことが伝わってきました。

「中学生のことを知らなかったけど、クイズを行うことで知ることができた。
ぼくのことも知ってほしいと思った。」

「前は同じ学級の人だけでやったから、縦割りのみんなまでできてうれしい。」

「自分が考えたクイズを、みんなが一生懸命考えてくれたので、とてもうれしかった。」

「最初は、やりたくないなと思っていたけど、中学生が楽しそうにやっているのを見て、自分も楽しみになった。縦割りでやることをすごく楽しみにしていたから、今日は本当に楽しかった。」
などなど、素敵な感想がたくさん発表されました。



【真崎先生】



【石原先生】



【綿貫先生】

「おしえるがっこう」の先生方からは…。

○「みんなが作ったスライドの画面の切り替わり方=テクノロジーがすごい!自分の会社でぜひ働いてほしいと思ったよ。みんなの前で話すことは、とても緊張したと思うけど、他の子がリアクションしてくれたから楽しくできたんだと思う。誰かのためにリアクションをしてあげると、仲良くなれるね。」

○「日頃の先生の役割にみんなが挑戦した。こんなことは、日本中探しても、川島小中学校でしかやっていない、とても画期的な取組だと思う。これができたのは、川島小中の先生が、少しでも楽しく面白い活動をしようとしてくれたおかげだよ。身近にいる人、応援してくれる人がいることに気付いてほしい。先生は、今、アフリカで生活しているけど、人にやさしく思いやりをもって接することは、地球上どこでも大切にされていると思う。」

○「先生は、いろいろな人と仲間になることが人権だと思う。自分の枠を飛び出し、人が仲間になること、学年を飛び出しいろいろな人と仲間になること、川島を飛び出し、世界の人と仲間になること。そうやっていくことで、世界平和にもつながっていくと思う。」

などなど、いろいろなメッセージをいただくことができました。

『自分の「よさ・強み」に自信をもち、「自分・仲間・川島のことが好きだ」と言える児童・生徒を育てたい!!』という思いからスタートした「おしえるがっこう」ですが、生徒達は、見事に、「自分のよさ・仲間のよさ」に気付き、「自分も仲間も大切」という思いをもつことができました。

そしてお別れ。最後まで、楽しく行うことができました!!

